令和７年度都立杉並高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	・「書くこと」の指導の充実 ・「話し合うこと」の指導の充実	・年度当初の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認する。 ・校内ビブリオバトルを開催する。 ・重点課題の指導に関して、授業観察や情報交流を通じて研鑽を積む。	・小論文の指導方法を開発する。 ・ビブリオバトルへ応募する。 ・「話し合うこと」についての指導方法を開発する。
地理歴史	・地理または歴史に関する事象について基本的な知識の定着を図ること ・思考力・判断力・表現力の育成	・諸資料の読解や考察を行なう。 ・考察した内容を、表現する、発表する、議論する、時間を設ける。	・共通テストや私立大学入試問題を題材に取り、歴史的な資料の考察、また、それを表現する力を身に付ける。
公民	より良き人の生き方、社会のあり方を考えさせること	学習内容について様々な資料から各人が感じ考える問いを見出させ、それに答えるべく考えさせ、多種多様な資料から答えにつながる材料を発見させる。	人の生き方や社会のあり方、諸課題の対策を他者との対話や様々な資料から考察させ、考察したことをまとめ、他者に的確に伝えられる表現力を身に着けさせる。
数学	思考力・判断力を養う数学的活動の充実	・数学と社会生活との関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、表現・処理する活動を取り入れた授業を実施する。 ・事象を数学的に表現し考察し、数学化する活動を取り入れた授業を実施する。	問題解決の過程において、論理的に考察する活動を重視した授業を実施する。
理科	探究的な態度の育成	・授業での発問や授業展開を工夫し、理由やしくみとともに理解することを重視した授業を実施する。 ・大学入学共通テストの問題分析会を実施する。	・夏休みにレポート課題を実施する。 ・考査に考察を含む問題を入れる。
英語	「話すこと」「書くこと」の指導の充実	・学期に1回パフォーマンステストを実施する。 ・5文から練習し始め、10文以上書けるように指導する。 ・ペア活動でのやりとりを授業内で3回以上行う。 ・開始1分間「話すこと」についての活動を実施する。	・台湾の高校とオンライン交流会や手紙交換を実施する。 ・英作文テスト学期に8回行う。 ・予習復習課題、文法のワークブックを自力で取り組む。 ・語学研修に向けての活動を実施する。 ・JETとのインタビューテスト・校内レシテーション・スピーチコンテストを実施する。
保健体育	・体力の向上 ・論理的思考による技能の向上	・自身の現状を正確に捉え、課題解決に向けた考察を記入することが出来るワークシートを開発する。 ・言語活動と運動量の確保を両立させる授業を実施する。	・課題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度の評価を取り入れた授業を実施する。
芸術（書道）	・「よく観て、考え、書く」ことの充実 ・見つけた課題について考察し・実行し、課題解決していく力の充実	・生徒相互の作品鑑賞・批評を実施する。 ・より良い観察、鑑賞を引き出すための教材を工夫する。 ・鑑賞・考察・実践を繰り返す中で、自主的かつ相互的に課題解決できることを重視した授業を実施する。	・自主的な課題解決のための、自己評価、改善への積極的な態度を評価する授業を実施する。
芸術（美術）	表現力、創造力を高める制作と鑑賞の充実	・専門性の高い課題、豊富な画材を導入する。 ・アートカードを用いて、プレゼンテーションを実施する。 ・制作した作品をグループ内で鑑賞し意見交換を実施する。	・校内と美術室において全生徒の作品を鑑賞できる機会を設ける。
芸術（音楽）	・「表現すること」の指導の充実 ・「協働して考える」指導の充実	・作品の特徴をワークシート活用で効果的に実践に結びつける。 ・他者と意見交換し主体的に学習できる課題を設定する。	プレゼンテーションなど相互評価を行い良さを発見し高め合える活動を目指す。
家庭科	生活課題を主体的に解決し、生活の充実向上を図る実践的な態度の育成	・実践的・体験的な学びによる知識・技術の定着を身につける。 ・実践的・体験的なワークを取り入れた授業を実施する。 ・他者と話し合ったり主体的に学習する活動を実施する。	・個人だけでなく家庭・地域・社会に関する課題を主体的に解決できるようになることを目指す。
情報	「情報活用能力の育成」につなげる実習の充実	・教科書選定時に課題解決型実習を多く掲載しているものを選定する。	・情報デザイン、プログラミング、データ活用などでは、それぞれのレベルに応じた学習活動を行う。